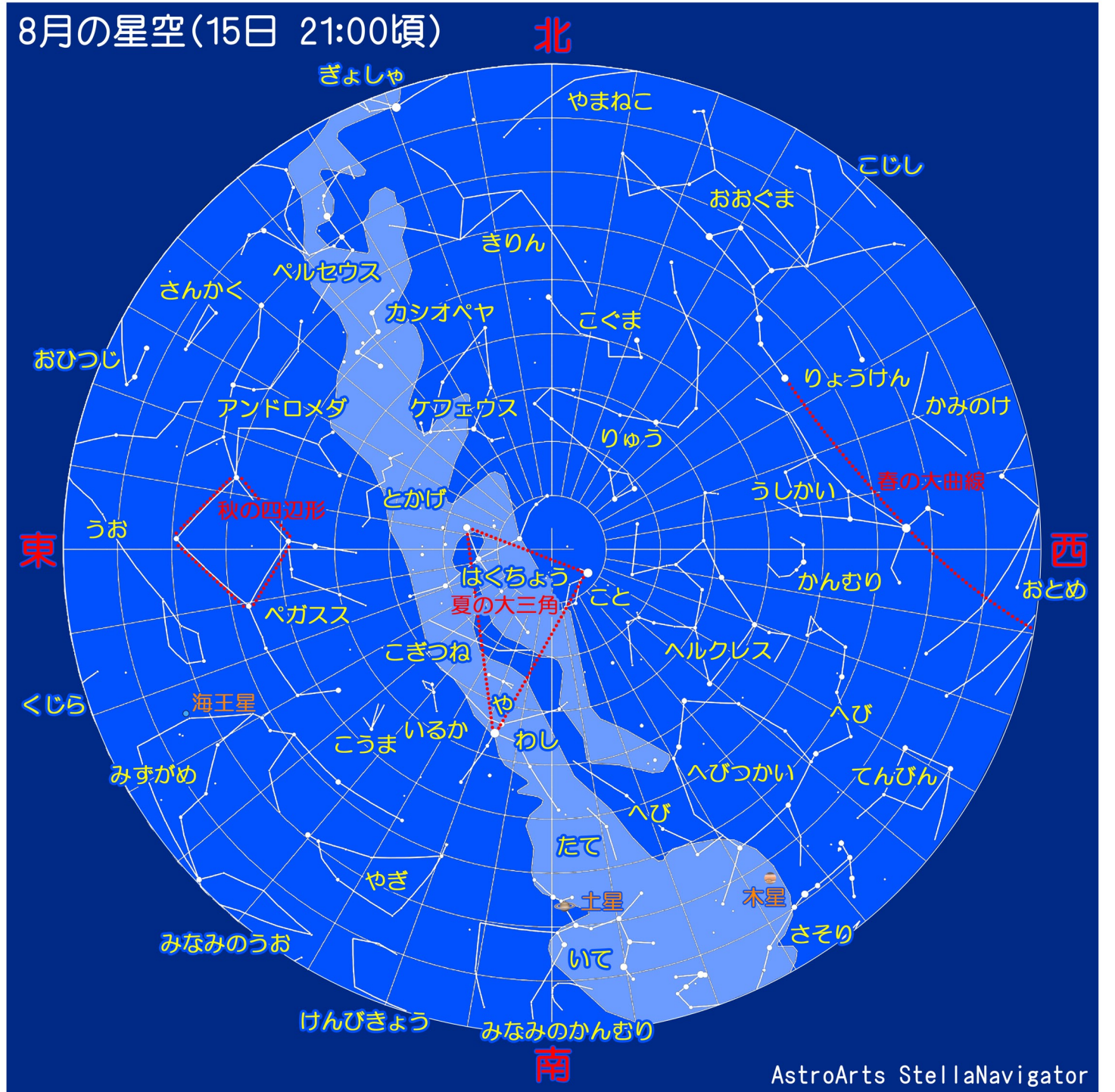


銀河の森天文台
2019年8月みどころ天体情報



月

出 没

1日 ● 新月 03:47 19:08
8日 ● 上弦 12:28 22:59
15日 ● 満月 18:35 03:46
23日 ● 下弦 22:05 11:50
30日 ● 新月 03:52 18:20

天文台から月を見ることが
できるのは4~18日頃、望
遠鏡での見頃は上弦前後で
す。

距離：約38万km

土星

見事な環を持つことで人
気の土星が見頃を迎えてい
ます。おなじみの環も開い
ていて見やすい角度になっ
ています。この土星の環は
99.9%が水の氷からできて
います。

太陽からの距離：約14億3000万km

木星

太陽系で一番大きな惑星
で、その直径は地球の約11
倍にもなります。大赤斑と
呼ばれる巨大な渦と、縞模
様が特徴的です。ガリレオ
衛星と呼ばれる、特に明る
い衛星が4個あるので探し
てみましょう。

太陽からの距離：約7億8000万km

M13 (球状星団)

北天で最も明るい球状星
団で、位置さえ知っていれ
ば双眼鏡でも簡単に見つけ
ることができます。望遠鏡
では、中心部まで星が密集
した見事な姿を観察するこ
とができます。

距離：約2万5100光年

M57 (惑星状星雲)

リング状星雲、ドーナツ
星雲などと呼ばれるように
環の形に見える星雲です。
これは、恒星が一生を終
えようとするときに放出し
たガスが光っているもので
す。

距離：約2600光年

M11 (散開星団)

いて座とわし座の間の天
の川の濃くなっている部分
たて座にある密集度の高い
散開星団です。
望遠鏡では、視野いっぱ
いに星が散らばる様子を観
察することができます。

距離：約5610光年

アルビレオ (重星)

はくちょう座のくちばし
の部分に位置し、黄色と青
色の色の対比がとても美し
い二重星です。
宮沢賢治は、この星をト
パーズとサファイアと表現
したほどです。

距離：約434光年

ちょっとマニア

・NGC6543 (惑星状星雲)

りゅう座に位置する惑星
状星雲でキャッツアイ星雲
と呼ばれています。非常に
複雑な形状をしていて、望
遠鏡でその構造の一部を見
ることができます。

距離：約3600光年

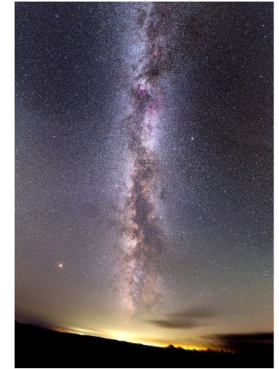
その他おすすめ

- ・M8 (散光星雲)
- ・M15 (球状星団)
- ・M20 (散光星雲)
- ・M22 (球状星団)
- ・M27 (惑星状星雲)
- ・ダブルダブルスター (重星)

今日のイチオシ！

☆天の川

夏は天の川の一番濃い部分が見える季節です。夜空を流れる天の川の正体は、私たちの地球も所属している天の川銀河そのものです。薄い円盤のような形をした天の川銀河の内側から、中央方向を見ているのが夏の天の川で、非常に多くの星が密集しているために濃く見えています。それに対し冬の天の川は、銀河の外側方向を見ているために、星が少なく淡い天の川となっています。



天の川

8・9月の銀河の森天文台カレンダー

8月							9月							開館時間 14:00~22:30 (4月~9月) 13:00~21:30 (10月~3月) 休館日
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
				1	2	3	1	2	3	4	5	6	7	
4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14	
11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21	
18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28	
25	26	27	28	29	30	31	29	30						